

平成 2 8 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 2 8 年 4 月～平成 2 9 年 3 月

1. 学校概要

学校名 岡山市立第二藤田小学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒702 _____ - 0221 _____

E-mail fujita2s@city-okayama.ed.jp

Website _____

児童生徒数 男子 200名 女子 160名 合計 360 _____ 名
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (地域理解)

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

3年生『二藤学区のお宝大発見！』

前中期「二藤学区の宝を見つけよう」…ポンプ場を見学し、藤田の用水路の水の源を知り、その水を使って農作物を育てている農家があることや、様々な生き物を育てていることを調べる。食べ物・生き物グループに分かれて、見つけた二藤学区のお宝を付箋で整理しながら模造紙や画用紙にマジックでまとめ、二藤のお宝マップを作成していく。調べたことを整理したり、わかりやすくまとめたりすることを通して、多面的・総合的に考えることができるようにする。

後期 「さがせ！地いきの達人」…藤田の人材に目を向け、家の人や近所の人にインタビューをして、達人情報を手に入れ、達人とのふれあい活動を楽しむ。その後、地いきの達人新聞を作り、印刷してお世話になった達人の皆さんに配る。地域の達人さんとふれあいながら活動することを通して、相手の気持ちを考えながらかかわることができるようにする。

4年生『チャレンジ！住みよい町づくり』

前中期「われらエコ探検隊」…ゴミ調べをしたり、岡山市環境局の方から話を聞いたりして、3Rについて学び、関心をもったことについて自分で課題を決めて、見直しをもって調べる。調べたことをもとに、リサイクルや、ゴミを減らすための取り組みなど、自分たちにできる活動を考える。考えたことを画用紙や模造紙にまとめたり、ポスターにして呼びかけたり、日常生活の中で実践していくことを通して、学習したことを自分の生活に生かしていこうとする態度を養えるようにする。

後期 「みんなで作ろうバリアフリー社会」…バリアフリー社会について知り、調べたり話し合ったりすることを通して、相手の立場や気持ちを理解しながら人とかかわっていくことの大切さに気づくことができるようにする。調べたことをもとに、みんながよりよく生きるために自分にできることを考え、実践する。また、調べたことや実践したことを付箋に整理しながらまとめ、新聞にして掲示し発信することを通して、自分にできることから行動しようとする実践力を育てる。

5年生『藤田の農業を知ろう』

前期 「めざせ！米博士」…学区の米農家で米作りの体験をさせてもらい、そこで米作りに関する苦労や工夫、願いや思い等についてインタビューしながら、地域の稲作について知ったことや自分の考えをワークシートにまとめる。また、興陽高校で行っている無農薬自然農法を見学し、環境に優しい米作りについても、理解を深めていく。学区の農業に目を向け、地域の農業の様子を知りたいと関心をもつことができるようにする。

中期 「発見！探検！藤田の農業」…学区の農家にフィールドワークに出かけ、そこで農業に関する苦労や工夫、願いや思い等、自分の調べたい課題についてインタビューしたり体験したりしながら調べ、地域の農業について理解を深めていく。また、JA岡山藤田の方に野菜のすばらしさを伝えてもらい、地域の農業のすばらしさを知る。分かったことを、画用紙、模造紙を使ってまとめて発表し合い、互いの意見を理解したり、関連づけて考えたりしながら、自分の考えを深める。

後期 「未来へ続く藤田の農業」・・・藤田の農業の未来について考えを出し合い、地域に根ざした農業への思いを、画用紙、模造紙を使ってまとめていき、お互いに発表し合う。また、自分たちの考えを新聞にまとめ、印刷したものを地域に配ったり、ラミネートシートで加工したものを地域の掲示板等に貼ってもらったりするなど、効果的に伝えることができる方法を考え工夫し、発信していく。

6年生『食から世界を見てみよう』

前期 「食から日本を見てみよう」・・・世界文化遺産に認定された「和食」。世界的に有名なものにもかかわらず、いざ「和食とは何か」と尋ねられると、どう答えたらよいのか「はてな？」と困ってしまう。そこで、私たちの生活の根幹を支える「和食」をあらためて見直すことで、「食」はその地の気候、地形的特色、産物と深くかかわるものであり、よりよく生きようとする人々の願いと結びつくものであることに気付かせる。そして、具体的に和食の特徴を調べていくことを通して、「食」は環境と切っても切れない関係であることを、改めて見直していく。

中期 「食から世界を見てみよう」・・・「和食」について学んだ見方、考え方を生かして、世界の特徴的な「食、料理」を調べていく。グループに分かれ、調べていく中で、どの「食」もその地の気候、地形的特色、産物と深くかかわるものであることに気付かせる。そのうえで、さらに「食」は他者との交流を生むとともに、それにともなって、さまざまな問題（環境、貿易等）な問題も引き起こしていることに改めて気付かせる。

後期 「食から自分たちのまわりを見直そう」・・・「食」の引き起こす問題点（作物を作る上での環境破壊・廉価な作物を作るために起きる問題・食品廃棄による無駄等）を見つめ直すことにより、水・電気・食物の無駄にも関心をもたせていく。世界にも視野を広げ、世界の国々のかかえている問題に気づくとともに、持続可能な「食」のために自分たちにできることについて考えていく。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（ ）